

歌手・劇作家金敏基さんの死去を悼む

山根 俊郎

7月22日に訃報を聞き、ご冥福をお祈りします。
【ソウル聯合ニュース】日本語版「大学路のリーダー」金敏基氏が死去 「地下鉄1号線」演出
韓国ソウル・大学路を象徴する小劇場「HAKCHON」を30年余り運営し、多くの後輩芸術家を育てた歌手で劇作家の金敏基（キム・ミンギ/김민기）氏が7月21日、胃がんのため死去した。73歳だった。（中略）

金敏基氏は1951年に全羅北道（現全北特別自治道）の益山で10人兄弟の末っ子として生まれた。1969年にソウル大の絵画学科に入学したものの、画一的な授業方式に嫌気がさし、1年生の1学期を終えた後、高校の同窓生とフォークソングデュオを結成して活動を始めた。

1970年には後に自身の代表曲となった「朝露」（아침이슬）を作曲した。楊姫銀（ヤン・ヒウン）が歌う「朝露」は大学生の間で広まり、民主化運動を象徴する曲となった。

1991年にオープンしたHAKCHONは多くのスターを輩出した。特に同劇場で1000回以上のライブを開いた故金光石（キム・グァンソク）は、同劇場から出た最高のスターだった。

私にとっての金敏基の歌

私がむくげの会に入会した1975年は、むくげのメンバーが「東亜日報を読む会」を主催するなど韓国の民主化運動に連帯しようという雰囲気が強かった。『朝露』もよく歌っていました。

金敏基の歌は、1977年頃に「地下抵抗の歌<金冠のイエス>というLPを通じて良く聴きました。製作：韓国民主回復統一促進国民会議日本本部宣伝局、発行：在日韓国青年同盟。

神戸学生青年センター朝鮮語講座上級の兪澄子（ユチュンジャ）先生が歌詞を翻訳された関係で受講生の私たちも買ったようです。

1977年7月17日発行「むくげ通信43号」に佐々木道雄さんがこのレコードを聴いて「 노래・歌」で「青い空・푸른하늘 韓国の生んだシンガーソングライター金敏基」を書かれている。

私は、このLPでは、楊姫銀が歌う『ソウルへ行く道・서울로 가는길』が好きでした。

金民基？ 金敏基？

当時は、キムミンギ（김민기）の漢字が金民基なのか？金敏基なのか？大いに悩みました。

当初、日本では、民衆の民の字と思われて金民基がよく使われましたが、金敏基が正しいです。

「キム・ミンギ 韓国民衆歌謡の“希望”と“壁”」金昌男編・金重明訳、1987年発行新幹社は、文中では、金敏基を使っています。

原本「김민기」は、前年1986年6月1日に発行された。6月23日付け東亜日報には“金敏基の歌集「김민기」出刊”と漢字を使っています。

「韓国の民衆歌謡」藤永壮さん等京都大学朝鮮語自主講座編・訳、1988年ウリ文化研究所発行、（講師の梁民基氏が監修）も金敏基を使っています。

金敏基さんに大阪で会う

1990年3月27日、私は、日本に来られた金敏基さんに大阪で会いました。

神戸大学留学生の金起燮（キムキソプ）さんの紹介でJR京橋駅付近のテラス風の飲屋でビールを飲みました。名刺には「ハンサルリム実行委員幹事 金敏基」。ハンギョレ新聞東京駐在員李柱益（イジュイク）さんと一緒でした。

金敏基さんは、とても物静かな方でした。日本には同胞の歌を探す目的で来られました。

日本に来る前に中国の延辺に行かれたそうでした。私が佐久間さんから聞いた「長生きしてください・오래오래앉으세요」の歌に言及すると「なぜ知っているのか？」と驚いておられました。

私は「むくげ愛唱歌集」をプレゼントしました。

その後、彼のLPレコード（復刻版）と「同胞の歌・겨레의노래 1」同胞の歌事業団編・1990年5月15日ハンギョレ新聞社発行の本とレコードを送っていただきました。律儀な方でした。

勿論、「長生きしてください」も収録されていた。

この事業に参加されていた魯棟銀（ノドンウン）牧園大学教授が越北作曲家金順男（キムスンナム）資料を探しに8月8日に私を訪ねて来られました。

